

IAP 日本支部会員 各位

2013 年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞の公募期間延長のお知らせ

IAP 日本支部会報誌・News Bulletin No.2, 3 でご案内しておりました、  
2013 年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞の公募期間の延長を致します。  
2013 年 9 月 30 日消印有効と致します。  
詳しい応募要領は下記の通りです。

IAP 日本支部病理診断学術奨励賞  
委員長 吉野 正  
IAP 日本支部事務局  
常任幹事 石川 雄一

2013 年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞の公募

下記の要領にて 2013 年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞を公募いたします。

#### 記

賞の名称：IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞

応募資格：日本の医療機関に勤務する若手(論文掲載時 40 歳未満)の病理医  
(IAP 日本支部の会員か否かは問わない)

選考対象：2012 年 1 月から 12 月の間に雑誌に公表された診断病理分野における優れた英文論文(1 編)。但し、留学先での仕事ではなく日本での仕事のみ。筆頭著者を原則とする。

受賞者数：3 名以内

賞の内容：賞状と副賞

#### 応募方法

推薦、自薦ともに可とするが、推薦を原則とする。(しかし、推薦者がいない場合でも受付ける。)

申請時に必要なもの：

1. 応募者の履歴書
2. 推薦書(推薦人がある場合)ないし、応募理由書(推薦人がいない場合)  
A4 用紙 2 枚以内(書式は問わない)

3. 論文の別刷 7 部 (1 部はオリジナル、他はコピー可)

応募の締切: 2013 年 9 月 30 日(当日の消印有効)

宛 先: 〒135-8550 東京都江東区有明 3-8-31  
(公財)がん研究会がん研究所病理部内 IAP 日本支部事務局内  
「IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞」選考委員会宛

選考方法・発表

IAP 日本支部が指名する「IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞」選考委員会(日本病理学会、日本臨床細胞学会からの外部委員も参加)において選考する。なお、受賞者は秋の IAP 日本支部病理学教育セミナー (教育シンポジウム) における表彰式に参加する。また、受賞者を IAP 日本支部の News Bulletin 紙上に加え、日本病理学会、日本臨床細胞学会の機関誌に公表する。